



令和4年度決算報告
一般会計歳出額は

67億7,933万円

令和4年度 特別会計決算額、町の貯金と借金

特別会計とは、特定の事業を行う場合に特定の収入を特定の支出にあて、一般会計とは別に収支経理を行うことです。令和4年度の特別会計決算額は、歳入19億845万円、歳出18億3,852万円です。詳しくは下表のとおりです。

(単位：万円)

特別会計	歳入	歳出
国民健康保険	13億1,557	12億6,093
後期高齢者医療	3億1,820	3億1,760
診療所事業	1億1,050	1億69
町営浄化槽整備推進事業	1億6,418	1億5,930
水道事業特別会計		
水道収益的収支	3億1,242	2億4,581
水道資本的収支	834	1億2,708

(単位：万円)

町の貯金と借金 (令和4年度末)		
基金(貯金)	財政調整基金	25億6,141
	地域振興基金	11億3,210
	その他の一般会計基金	6億2,527
	特別会計基金合計	1億924
	基金合計	44億2,802
地方債等(借金)	一般会計	81億1,983
	水道事業特別会計	9億8,975
	町営浄化槽整備推進事業特別会計	3億218
	地方債等合計	94億1,176

令和4年度一般会計・特別会計の決算が町議会9月定例会で承認されました。

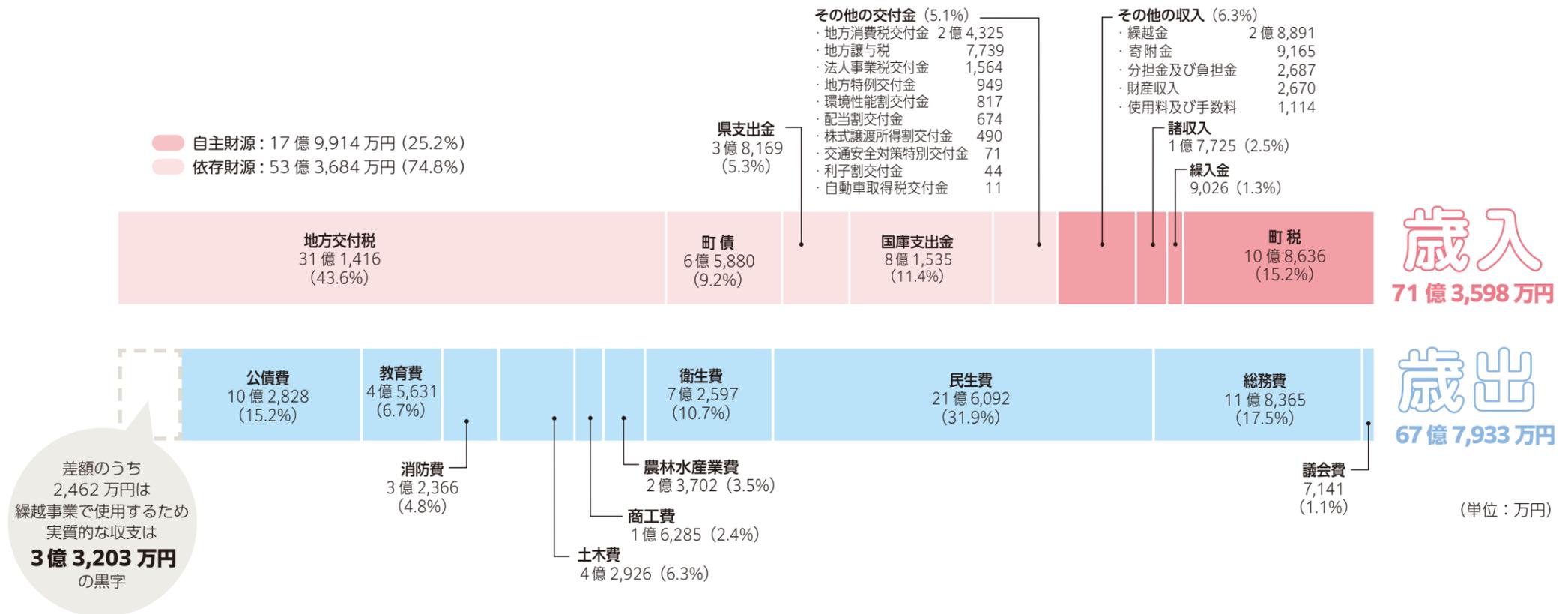
当初予算57億6,997万円でスタートした令和4年度一般会計決算は最終的に歳入が71億3,598万円、歳出は67億7,933万円。歳入から歳出を差し引くと3億5,665万円の黒字ですが、そのうち令和5年度へ繰り越す事業に必要なお金が2,462万円あ

るので、実質的な収支は3億3,203万円の黒字決算であり、そのうち2億円を財政調整基金に積み立てました。そのほか、特別会計においては左の表のとおりです。

それでは、令和4年度の一般会計決算状況をお知らせします。(予算額・決算額は、千円単位を四捨五入しています。)

令和4年度の主なまちづくり事業

総務費	
紀の宝商品券発行事業	1億1,084万円
観光誘客促進事業	890万円
結婚新生活支援事業	312万円
民生費	
鶴殿保育所建設事業	3億4,368万円
高齢者応援商品券給付事業	1,285万円
町立保育所給食費無償化事業	634万円
衛生費	
予防接種事業	3,847万円
がん検診・健康づくり健診等委託事業	1,337万円
出産・子育て応援給付金事業	626万円
農林水産業費	
地域水産物供給基盤整備事業	4,903万円
山村強靱化林道整備事業	1,001万円
木造住宅建設促進対策事業	525万円
商工費	
ウミガメ公園防災拠点建設事業	4,611万円
ウミガメ公園加工場改修および駐輪場設置事業	497万円
土木費	
緊急自然災害防止対策事業	1億5,210万円
社会資本整備総合交付金事業	8,032万円
建物解体助成事業	500万円
消防費	
成川高台法面災害復旧事業	1,026万円
自主防災組織活動支援事業	127万円
教育費	
小中学校および幼稚園給食費無償化事業	2,026万円
給食センター連続炊飯システム購入事業	440万円



民生費が全体の約31.9%

歳出総額は67億7,933万円、目的別経費で見ると、鶴殿保育所建設事業や児童手当、福祉医療費助成制度などの民生費に充てられる費用が一番多く、歳出全体の31.9%を占める21億6,092万円でした。続いて多いのが新型コロナウイルス関連経済対策事業や結婚新生活支援事業などの総務費で、全体の17.5%、11億8,365万円でした。

地方交付税が全体の約43.6%

歳入総額は71億3,598万円です。歳入を町税や諸収入などが自主的に確保することができ、自主財源と地方交付税や国・県補助金など国や県から町に対して交付されたり町に当てられたりする依存財源に大別し比較すると、地方交付税や国庫支出金などの依存財源が74.8%と全体の約3/4を占めています。依存財源のうち、町債などが前年度より減額したため、依存財源の割合が2.2%減少しています。また、町税収入などの自主財源は25.2%で、全体の約1/4です。

自主財源の中で最も多いのが町税収入で、10億8,636万円。町民一人当たりの負担は10万4,588円(町税の総額を令和5年3月31日現在の人口で割ったもの)です。一方、依存財源で最も多いのが地方交付税で、31億1,416万円、歳入全体の43.6%を占めています。また、事業を進めるために国などから借り入れる町債は9.2%、6億5,880万円です。